令和2年度　事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	障害者文化芸術講座					シート番号	011-168
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名)	佐野

≪Ⅰ. 基本情報≫

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成　27　年度		終了(予定)年度	—　年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
	5	事業実施の経緯	障害者が集い活動できる場の提供と障害者の社会活動や交流を図ることを目的として、平成27年度から本事業を実施している。			

≪Ⅱ. 事業概要≫

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	■ 本庁　□ 各区　□ 出先機関　(　　)　□ 市外郭団体 □ 地域団体・市民　□ 民間企業・NPO　□ その他　(　　)
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内在住の障害者
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	障害者に対し、文化芸術活動や集う場所を提供することで、社会参加の促進や当事者間の交流を図ることを目的とする。
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	障害者が豊かな社会生活を送れる機会を創出するため、障害者を対象とした講座を開催する。 □ 直接実施　□ 指定管理　■ 委託　□ 補助金　□ 負担金　□ その他　(　　)
	10	直接実施以外の主な支出先	社会福祉法人 堺中央共生会

≪Ⅲ. 投入量≫

			項目	単位	平成29年度 予算	平成29年度 決算	平成30年度 予算	平成30年度 決算	令和元年度 予算	令和元年度 決算	令和2年度 予算
事業コスト	11		事業費 (a)	千円	1,774	1,450	1,667	1,243	1,521	1,200	1,391
		主な事業費内訳	役務費等	千円	255	324	69	71	79	71	79
			講座開催業務等委託	千円	919	850	998	902	962	854	952
			光熱水費負担金	千円	600	276	600	270	480	275	360
			報償費	千円							
		財源内訳	国・府支出金	千円							
			受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
			市債	千円							
			その他(　　)	千円							
			一般財源	千円	1,774	1,450	1,667	1,243	1,521	1,200	1,391
	12		人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
	13		総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,594	2,270	2,487	2,063	2,331	2,010	2,211

令和2年度　事務事業総点検シート（2）

事務事業名	障害者文化芸術講座	シート番号	011-168

≪Ⅳ. 評価（測定・分析）≫

ロジックモデルの考え方

活動（アクティビティ）：問題に対処するための具体的活動 → 因果関係 → 活動結果（アウトプット）：活動が実施されたことを示す事実 → 因果関係 → 成果（アウトカム）：期待される変化 → 目的の達成に寄与

〔14〕令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

〔15〕または〔16〕に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

活動実績と成果

14　令和元年度実績

令和元年度は年間を通して、次の2講座を各18回ずつ開催し計13人が参加した。
また、講座を通じて参加者が互いにアドバイスを行うなど、事業の目的である当事者間の交流を図ることもできている。

①「手芸・編み物講座」（参加者９人）
個々の能力により差はあるが、1人あたり年間6～7種類の作品をつくることができた。

②「フラワーアレンジメント講座」（参加者４人）
毎回、季節の草花による作品を1つ作製した。

15

指標名【活動指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加人数	人	目標値	30	27	27	27
		実績値	18	18	13	
		達成率	60%	67%	48%	
		評価	少し悪い	少し悪い	悪い	
算出方法・設定根拠など	講座の定員を目標値とする。					

16

	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
		評価				

事業の効率性

17

	区　分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	参加人数	人	18	18	13
②	上記①にかかる年間経費	千円	2,270	2,063	2,010
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	126,111	114,611	154,615
備考（算出についての説明等）					

18

	区　分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①	講座開催回数	回	40	40	36
②	上記①にかかる年間経費	千円	2,270	2,063	2,010
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	56,750	51,575	55,833
備考（算出についての説明等）					

業績の分析

19　目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析（その他、関連情報に基づいた分析）

・少人数で実施していることで、一人ひとりの障害特性に合わせた丁寧な指導ができている。
・費用対効果の点で事業手法を検討する必要がある。

【分析のチェックポイント】
- ○ 事業の達成度はどうでしたか。
- ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- ○ 資源投入は適切でしたか。
- ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- ○ 有効性は高いですか。低いですか。
- ○ 効率性は向上していますか。
- ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度　事務事業総点検シート（3）

事務事業名	障害者文化芸術講座	シート番号	011-168

≪V．点検≫

＜点検の前提＞
〇新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
〇新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

〇 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。　⇒　■ 確認

<table>
<tr><td rowspan="14">コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。</td><td>事業廃止の可能性</td><td colspan="2">廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</td></tr>
<tr><td>□ 廃止できる
■ 廃止できない</td><td colspan="2">本事業の参加を希望する市民の文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加に影響がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">21</td><td rowspan="2">（20で廃止できるを選択しなかった場合）
本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止（延期）できないか。</td><td>事業休止の可能性</td><td>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</td><td>休止の場合の再開時期</td></tr>
<tr><td>□ 休止（延期）できる
■ 休止（延期）できない</td><td>本事業の参加を希望する市民の文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加に影響がある。</td><td>□ 令和2年度中
□ 令和3年度
□ 令和4年度以降</td></tr>
<tr><td rowspan="2">22</td><td rowspan="2">（20で廃止できるを選択しなかった場合）
本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。</td><td>コストの縮減</td><td colspan="2">縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</td></tr>
<tr><td>□ 一部廃止しコスト縮減できる
■ 一部休止しコスト縮減できる
□ 規模等を縮小しコスト縮減できる
□ 事業手法等を改善しコスト縮減できる
□ 縮減できない</td><td colspan="2">一時的に実施回数の見直しを行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">23</td><td rowspan="2">（20で廃止できるを選択しなかった場合）
社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。</td><td>事業手法の適切性</td><td colspan="2">改善する場合は改善策、その他は理由</td></tr>
<tr><td>□ 改善する必要がある
□ 改善する必要がない
■ 既に対応できている</td><td colspan="2">3密を避けるための配席スペースの確保等、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">24</td><td rowspan="2">（20で廃止できるを選択しなかった場合）
効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。</td><td colspan="3">効果的・効率的な事業実施（以下の観点で、改善する（または改善済）場合は■、改善しない（改善余地がない場合を含む）場合は□）</td></tr>
<tr><td>① ■ 公民連携の推進
② □ ICT活用による効率化
③ □ 他部局との適切な連携・役割分担
関係部署名（　　）
関連事業名（　　）
④ ■ 国・府等との適切な役割分担・連携
⑤ ■ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡
⑥ □ その他（　　）</td><td colspan="2">理由・説明
平成29年度から委託事業形式で堺市独自の事業として実施している。
なお、法の趣旨目的等を背景に自治体毎に同様に障害者の社会活動や交流を図ることを目的とした事業を行っている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">25</td><td rowspan="4">これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。</td><td colspan="2">事業の方向性</td><td>実施年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">□ 廃止　■ 休止または延期　□ 事業を縮小　□ 改善して継続　□ 現状を継続　□ 事業を拡充</td><td rowspan="2">□ 令和2年度
■ 令和3年度
□ 令和4年度以降</td></tr>
<tr><td colspan="2">公金投入の方向性
□ ゼロ　■ 縮小　□ 現状維持　□ 拡大</td></tr>
<tr><td colspan="3">所見
一時的に実施回数を削減する。</td></tr>
</table>